

第13回総合学科発表会が開催されました！



“小さな「問い」の種を大きな「創造」の木に”をテーマに各年次が発表をし、保護者の皆様をはじめ、来賓の方々や中学生も含め多くの方にご来場いただきました。

ステージ発表部門

1年次生は、産業社会と人間の授業を取り組むなかで、様々な人やものとの繋がりを強く感じ“繋がり”をテーマにして発表しました。川瀬莉子さんは、



「周りの人を大切にすること。自分の発する言葉に責任を持つこと。」という自分との約束を2分間スピーチの代表者として発表しました。大石愛紗さんは、講談社に行き好きな漫画の担当編集者さんにインタビューをして、『将来へのみちしるべ』と題し聞き書きにまとめたものを発表しました。また総合校外学習の事後発表として、経済領域からは『JKとケーキ～景気が揺さぶるお金の価値とは～』、国際領域からは『日本と貧困地域の差とは』について発表がありました。最後に、渡邊那由太さんが『産業社会と人間を学んで』と題して、入学してから一年間多くの課題を乗り越えてきた自分の経験を発表しました。以下抜粋です。

「2分間スピーチでは、高校に入学する前の自分を振り返り、これから自分がどう学校生活を送っていきたいのかについて発表しました。過去から目をそらして生きてきた私にとっては、自分を見つめなおすことほど苦しいことはありませんでした。しかし、過去に正面から向き合うことで、悩んでいる誰かを支える人になりたいという目標ができました。また、働くことはお金を得ることだけだと考えていましたが、職業人インタビューを通して、働くことは社会をつくることだと考えるようになりました。学んできた一つ一つの課題や経験をパズルのピースのようにつなげ、それを2年次の総合的な探究の時間や、3年次の課題研究につなげていき、自分のパズルを完成させていきたいと思います。」

2年次生は、課題研究の準備をする時間として「新書紹介」や「思考ツール」など様々な事に取り組んだ1年であり、その取り組みや成果について発表しました。フィールド



ワークとして取り組んだ総合校外学習からは、代表として西宮市議会グループによる発表があり、実際に議員の方に答弁していただいた模擬市議会での様子などを報告しました。最後に、課題研究出発宣言として、辰己愛和さんが「性別のあり方とジェンダーレス」をテーマにした研究について、その背景、目的、動機、研究の手法について整理をした中間報告を行いました。

～生徒感想～

- ・2年次の発表は「これからやること」ばかりなのでもワクワクしました。校外学習では楽しみながらも学べるのが沢山あると知りました。
- ・課題研究の中間報告では、テーマ・仮説・結論が具体的でした。僕も、自分にしかできないものを作ろうと思いました。

3年次生からは課題研究の代表として、藤田陽菜さんによる「野球部は、なぜ坊主なのか～これからの高校野球とは～」をテーマに、脱坊主派の高校が優勝することによってこれからの高校野球が変わっていく可能性もあるという研究結果を発表しました。そして最後に、西口貴斗さんが『総合学科で学んで』と題して、入学時は消極的で将来の夢が漠然としていた自分が、総合三科の学びを通して、自分自身と向き合い、夢と向き合い、多くの人との出会いを通して、積極的に挑戦する自分へと変わることができた経験を発表しました。以下抜粋です。

「人とのコミュニケーションを重ねていくことで、自分の想いを段々と伝えられるようになりました。私は変わっていく自分に、喜びや充足感を持ち、それまで抱いていたもどかしさが消えていきました。そこから、コミュニケーションが持つ力の大きさを知りました。1、2年次の皆さん、自分に限界を設けて、消極的なままでいいでください。西宮今津高校の総合三科には、一歩踏み出すことに挑戦することができるチャンスが沢山あります。だから、自分から積極的に挑戦してみてください。自分を変えることができます。夢を叶えるための一歩を踏み出しましょう！」



♪『特色ある科目』のステージ発表では、2、3年次音楽選択者による演奏がありました。

- ・本当に鳥肌が立つくらい上手で感動しました。
- ・男子も少数しかいないのに、女子にも負けずに綺麗な声が出せていてハーモニーになっていた。(生徒感想)
- ・中学の合唱で最後かと思っていたので、子どもの歌声が聴けてうれしかったです。(保護者感想)



フィールド科学実習の活動報告では、森林観察・河川生物調査・京都府立海洋高校との共同実習での様子や、大学や専門の研究者の方に指導していただいた内容を2年次の受講生徒が発表しました。

- ・発表者がハキハキと発表していて、聞き取りやすかったので理解がより深まった。
- ・内容もとても細かく、知らないトンボの話も聞けて実際に見てみたいと思った。(生徒感想)

展示発表部門

『情報科・外国語科・書道・美術・家庭科・国際交流』

特色ある科目の展示発表 ～感想～

- ・同じ題を与えられているはずなのに内容がそれぞれ異なっていて、自分らしさを表現しているのがすごいと思いました。個性って素晴らしいと感じました。
- ・自分の作品以外を見る機会があまりないので、他学年の作品を見ることができて良かった。



1～3年次の展示・ポスターセッション

パワーポイント発表 ～感想～

- ・ポスターを班で真剣に取り組んで作ったので、1年の展示を見て達成感がありました。でも、2年次生の細かな内容と比べるとやっぱり差がすごいなと実感しました。2年次生になった時の発表会では、もっとしっかりと取り組めたらいいなと思いました。
- ・多くの人の発表や展示を見られて、とてもためになりました。見る人の目に留まるような工夫が沢山されていました。来年、自分が作った物が見る人の気を惹く工夫ができるように、日頃から色々なことに疑問を持って学校生活を送りたいと思いました。
- ・2年次の先輩方の思考ツールの発表やポスターセッションは、どれも工夫が施されていて、見ている人に分かりやすく伝える努力が伝わってきました。
- ・3年次の先輩のパワーポイント発表で、ふとした疑問でここまで内容が広がることを学びました。
- ・先輩方が笑顔で説明をしたり質問をしてくれました。笑いも起きて、聞いている私も楽しくなりました。
- ・知識を増やしていくことで周りの視野も広がっていくと思った。
- ・今回、初めて拝見しましたが、3年間でしっかりと段階を踏んで研究を進めていくというプログラムやフィールドワークの多さに驚きました。生徒のこれからの人生が楽しみになる発表会でした。(来賓感想)
- ・どのまとめを見ても、決して同一ではなく、それぞれがそのテーマに向き合い頑張ってきたと感じることができました。3年生は今後の進路先での活躍、始動につながる大きな取り組みだと思い、とても感心しました。挑戦の場を大切にしてほしいと思いました。(保護者感想)
- ・1年次生が入学したての頃では思っていなかった程に、しっかりと発表している姿に成長を感じました。(保護者感想)
- ・ますますこの学校に入りたいと思うことができた。楽しかったです。勉強になることが沢山あった。(中学生感想)



今の時代は、自分の力を伸ばすのが大変な時代です。無理に何かしなくて良い、自由な時代です。楽をしていると何もしない人間になってしまう可能性もあります。だから、得意な分野の挑戦だけでなく、不得手な分野、あまり意味ないなと思っている分野に挑戦すると、そこで力を付けることができます。その瞬間、素晴らしい力を身に付けることができます。多くの経験ができる学校にいるのだから、「できた!」という自信を持ってください。「私はできるんだ!」と思って過ごしてってください。あなたたちは世の中に必要な人材で、すごく頑張っている人たちです。自信を持って過ごしてください。



【2・3月の予定】



月	日	曜	行 事
2	1	土	総合学科発表会
	14	金	1・2限授業・大掃除 午後：敷地内立ち入り禁止
	15	土	校舎内立ち入り禁止
	16	日	午前：校舎内立ち入り禁止 午後：敷地内立ち入り禁止
	17	月	高等学校推薦入試
	18	火	代休（総合学科発表会）
	20	木	1・2年次学年末考査 (1/27まで)
	27	木	卒業式予行・同窓会入会式
	28	金	卒業式
	3	5	木
6		金	球技大会
10		火	1年次 進路行事・ふるさと貢献清掃 2年次 総学「大学教授による講義」
11		水	大掃除
12		木	高等学校学力検査
13		金	高等学校実技検査
16		月	個別指導・自宅学習
17		火	個別指導・自宅学習
18		水	個人写真撮影・教科書販売
19		木	生徒総会・保健講演会
23	月	大掃除・終業式	
			3月の食堂営業はありません 4月8日(水) 始業式・入学式 原則として毎週月曜日は教職員定時退勤日 行事予定は変更する場合があります